

諸家系譜

位
初 金田 金澤 金承

太政官文庫			
三 五	三 四 九	和 書 門	
冊	架	函	號

内閣文庫			
三 五	三 四 九	和 書	
函	冊	架	類

内閣文庫	
番號	和 32049
冊數	225 (122)
函號	156 23

共二百五十五ノ内

共八十五



加
平

系

本
十二月廿九日

平氏
百九十一番
〇 塘田

渡府
金田

平姓

金田

善原親之四代孫守府將軍隆興子
良文子出子榮隆助常陸口男中更於
元文正出子物取金田口男孫也城是時始
号金田意於和令今也而之孫子也
於次後亂上孫也江人孫也城也金田
也也又文信吉次男

善原

良文

榮隆

物取

金田

正典

全因海子中

正典居於此處山之河入海
正典居於此處山之河入海

母

正典居於此處

正典居於此處

妻

正典居於此處

正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處

安撫院標

安撫院標

正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處

正典

正典居於此處

母

正典居於此處

妻

正典居於此處

正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處

正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處
正典居於此處

正典

正典居於此處

母 之如
妻 正

大正房妻
瑞之院柳 廿七

檢現帳 治正侍勤元文十六本年

瑞之院柳 藏田庄秀之治正勤元

檢現帳 治正之治正今川親元治正

治正 治正之治正今川親元治正

右意志原好妹之國口為物藏田庄

秀之治正 入治正之治正 正房為物

正意志原好妹之國口為物藏田庄
右意志原好妹之國口為物藏田庄
右意志原好妹之國口為物藏田庄
瑞之院柳 廿七

家房

初更

大正房父正房右正房

瑞之院柳 廿七

永祿之申 治正之治正 家房

檢現帳 治正之治正 治正

沖我之孫也
沖本下原義以女妻高院
高院元子以孫見村以同公孫也
中心去村以山月川梅公

孫勝

其氏年

右孫勝我之正孫致於其男子
皇元月年正月之知正孫高子以月

孫勝

其氏年

其氏年

孫勝我之正孫致於其男子
皇元月年正月之知正孫高子以月

妻 不知

右孫勝義

孫勝我之正孫致於其男子
皇元月年正月之知正孫高子以月

皇元月年正月之知正孫高子以月

皇元月年正月之知正孫高子以月

皇元月年正月之知正孫高子以月

皇元月年正月之知正孫高子以月

皇元月年正月之知正孫高子以月

正孫

其氏年

女新

元々地...
柳原...
...

女子

...

女子

川田...
...

女子

正原

母

...

妻

元々...
...

...

...

...

謝文元世多子... 沖太

館本府君... 附館本府城代

行付... 下並申付...

婦子... 正親... 大書

お初... 方...

府君館本... 沖太

お初... 方...

同... 方...

沖太... 館本... 城代

沖太... 館本... 城代

沖太... 館本... 城代

三伊...

正親

大正親父...

館本府君... 附館本府城代

此... 方...

正親

正勝

今向...
又...

母

之...

...

妻

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

御取用の上は、先づ御成程に御座り
目録法式次第に御座り
同方々御成程に御座り
帝意に御座り

元禄九年五月二十七日御成程
御取用の上は、先づ御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り

御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り
御成程に御座り

正通

正通

母

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

正通

言定事新 号 号之院

正朔 令甲初年

五正卯年

正朔之院 号 号之院

五正卯年

元禄七年 号 号之院

五正卯年

同午年 号 号之院

五正卯年 号 号之院

書之

正朔 令甲初年

五正卯年

元禄七年 号 号之院

五正卯年 号 号之院

五正卯年 号 号之院

正朔 令甲初年

五正卯年

元祿四年三月廿一日
清少納言 乃如之旨候之御料之旨候
より色付勅問の旨候之旨候
御子母之旨候御料之旨候

白紙

令申初之旨

元祿四年三月廿一日
乃如之旨候之旨候
御子母之旨候御料之旨候
御子母之旨候御料之旨候

女子

正名之旨候之旨候

女子

乃如之旨候之旨候
御子母之旨候

乃如之旨候之旨候
御子母之旨候御料之旨候
御子母之旨候御料之旨候
御子母之旨候御料之旨候

女子

乃如之旨候之旨候
御子母之旨候御料之旨候

正澄

正澄の妻
正澄の女

母 正女

元正

正澄の妻

正澄

元正の子

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

正澄

又陸云沖代父身如也

享保九年申○三月廿八日

廿九日正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

正院寺御書也

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

同○八月○廿九日

時代は 行方同の十月迄の事
より金令を収められた
日三子の行方同 行方
行方同は同のより方々
美紀下 行方
色唐二申のより方々
行方同 行方同のより方々
行方同 行方同のより方々
行方同 行方同のより方々
行方同 行方同のより方々

同中よりより方々
より金令を収められた
同中よりより方々
行方同は同のより方々
同中よりより方々
行方同は同のより方々
同中よりより方々
行方同は同のより方々
同中よりより方々
行方同は同のより方々
同中よりより方々
行方同は同のより方々

おんは

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

申すに

正

正

申すに

申すに

申すに

正

正

申すに

正徳

同前子 二月八日 陸府 〇〇番
行村 同子 三月十日 〇〇番
令 〇〇夜 〇〇夜 二〇番 〇〇番

正徳

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

女子

三人 子世

正徳

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

令 〇〇夜 〇〇夜

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

正徳

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

〇〇夜

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番
〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番
〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番
〇〇夜 〇〇夜 〇〇番 〇〇番

上野の赤へ下由緒あり
田舎のありのあり日由緒あり
上野の赤へ下由緒あり
千のありあり

田舎のありのあり日由緒あり
上野の赤へ下由緒あり

正續

今日終り也

おのゝあり

女子

おのゝあり

女子

おのゝあり

おのゝあり

おのゝあり

おのゝあり

おのゝあり

おのゝあり

今日終り也

本
寺
今
何
伊
崎
寺

系
譜

加

系
氏
寺
今
何
伊
崎
寺

寺
今
何
伊
崎
寺

平姓 金田

善政

三輪遠

鬼考

善政

三輪遠

善政之考

善政

鬼考

金田善政の善政考

正明

善政

善政考 善政考 善政考

善政

善政

善政

善政

善政

善政

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

同の善政考 善政考 善政考 善政考

正枝

正府 正外 正内 正中 正下

母 吉桑氏女

正妻 吉桑氏 吉田貞徳子貞之妻

正妻 吉桑氏 正枝之母 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

正府 正外 正内 正中 正下

正妻 吉桑氏 吉田貞徳子貞之妻

正妻 吉桑氏 正枝之母 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

吉桑氏之孫 吉桑氏女

本三頁毎
他名付来り也

系譜

加
了るの事
平流

平氏
百九千武備
堀河を以て
□

中書行記
他名付来り也
令因後八年

令田惣六郎正殿之云男

正殿

始正若 大正以 令田惣六郎

母 大正 肉及之無氣正宮女

妻 正殿 長川漢院正宮女

生以有

正殿十九年甲子子正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

台進云下正殿正殿

元和乙卯正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

正殿正殿正殿正殿正殿

汝等所幼自能下加曉悟多學
家 之意方以履歷大者人宜方及
也於法

同文 志了方也

台煙云 沖代 沖前云 万島方是者錄

新知云万志有任法

大敵云 沖代

意承八 年 沖代 意以万志有任法

歳云云 沖代

原云云 意以万志有任法

法務部所設 行月云

同云云 志了方也 行月云

明曆二酉申年 万志有任法

之万志有任法 意以万志有任法

万島之原云云 行月云

沖前系云云 行月云

意承元 年 志了方也

歳云云 沖前 法務部所設 行月

新知云云 志了方也 行月

也於法 志了方也 行月

抄録

府君は母とて海を越して山に於て之を葬

す所は法に月を五知す法

同日ありて

府君は元 神祇系 神代文 館母所蔵

伊述の村に在り

源清は地法中絶死 傳方 時法六

法之旨教しり事 之良 百辰沖り

抄録

同日二月病ありて為神代文あり

抄録

同日三月死ありて

壽正江戸野道に在り

子孫奉院に在り

正親

母左大臣

全同無り

母

口内記

長谷川源氏とて正女

母

生 江戸村

寛永十二年子〇十二日歿ありて

享保十三年乙未六月廿五日
御座候御時
御座候御時
御座候御時
御座候御時

延享三年丙午六月廿五日

同日丙午六月廿五日

同日丙午六月廿五日

同日丙午六月廿五日

同日丙午六月廿五日

同日丙午六月廿五日

辰

辰

母上

正徳五年乙未六月廿五日

正徳五年乙未六月廿五日

正徳

正徳

母上

享保十三年乙未六月廿五日

享保十三年乙未六月廿五日

正徳

正徳

母上

享保十三年乙未六月廿五日

女子

母

河原に嫁すは記す

是村に 是乃川年人百三女

女子

母之月

河原に嫁すは記す

正補

母之月

合向也公命

是乃母之月之内延多女也公命

正起

母之月

合向也公命

是乃二已己之三月也又乃年人百次

男子母之月之内延多女也公命

某

子世

母之月

女子

母之月

河原に嫁すは記す

正紀

是乃母

合向也公命

是乃母

是乃母

河原に嫁すは記す

是乃母

是乃母

河原に嫁すは記す

其母 御前 柳原 宗茂 政家 妻

母 妻

生 江府

室 曆 七丁 巳 年 丁 未 月 丁 未 日 亥 時 生

男子 母 宗 茂 宗 茂 孫 宗 茂 宗 茂 孫 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

同 父 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂 宗 茂

合 同 宗 茂

正 擊

母 妻

母 妻

生 江府

室 曆 七丁 巳 年 丁 未 月 丁 未 日 亥 時 生

安部小吉... 同... 安部... 妻... 月...

正應

女子... 切...

妻... 月...

妻... 月... 安部...

妻... 月...

妻... 月... 安部...

生... 安部...

安部... 男子...

男子... 月...

月... 安部...

安部... 月...

月... 安部...

安部... 月...

月... 安部...

安部... 月...

月... 安部...

下層及信代信者自信長之物不
水腐結公右月之知

正切

新市

母

新市

塚敷之親戚女

来也

母之同

正吉

新市

母之同

女子

母之同

右之通之村女也

武藏守 塚敷

上江守

市平部

中江守

尾藏

上江守

市平部

生必更度

若古部町

上江守

市平部

小善信也

他之信長之親戚

宣政之妻也

合田信之部

印

高小吉也

か平

系譜

高十之孫
松平昌之助 弟

平氏 □
九年九番 ○ 塚田 弟

孫
字性也
松平昌之助 弟
字田新八郎

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

平姓

上重

弟之反

弟之反

弟之反

三梅遠

口口

鬼者

正則

改初吉年

母

妻

中興... 友方... 正則女

正則親女

順唐二... 正則生

延嘉... 正則

皇後番物之旨儀

貞享二年七月二十日申午

奉口 沖我元 行付物お番之儀

元禄五上申多十月末

日七甲巳

日十丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

日丁

日申

正利

卯年 後年 改初年

母 今因世つて女

妻 後妻 松井ノ子ノ女

後妻 松井ノ子ノ女

元孫 元成存子 二月廿四日

日廿二日 二月廿四日 廿五日

日廿二日 二月廿四日

日廿二日 二月廿四日

日廿二日 二月廿四日

日廿二日 二月廿四日

日十三日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十三日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十三日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

日十八日 申年 五月廿日 西九月廿日

可免性院了了幸母
正適 初初子 初子

元文元年八月廿一日
高子初初

初初 初初

正初 初初
母 日

元文元年八月廿一日

某 初初
母 日

女子 初初
母 日

女子 初初
母 日

正適 初初
初初

元文元年八月廿一日
合初初

元文元年八月廿一日

元文元年八月廿一日

元文元年八月廿一日
川初初

女子

同日十月五日... 同日十月十日... 同日十月十五日... 同日十月二十日... 同日十月二十五日... 同日十月三十日... 同日十一月五日... 同日十一月十日... 同日十一月十五日... 同日十一月二十日... 同日十一月二十五日... 同日十一月三十日... 同日十二月五日... 同日十二月十日... 同日十二月十五日... 同日十二月二十日... 同日十二月二十五日... 同日十二月三十日...

正芳

元文... 寛政... 天明... 天保... 文政... 嘉永... 享和... 文化... 天保... 文政... 嘉永... 享和... 文化... 天保... 文政... 嘉永... 享和... 文化...

正秋

正秋... 母... 妻... 寛政... 天明... 天保... 文政... 嘉永... 享和... 文化... 天保... 文政... 嘉永... 享和... 文化...

如心也亦勤时故之下
 安永八之三年...
 日五...
 古畑之...
 日乃...
 日八...
 同九...

女子
 母 家女

某 初年 子世
 母 少高品格女

某 弟助 子世
 母 是

正道
 母 少高品格女

日八...
 日六...

少高品格女

主文 片断あり 青山 徳子 湯 存 昌 房
主母 昌房

寛政 四年 卯月 十日 生 戸
寛政 四年 卯月 十日 生 戸
行 行

女子 金田 節 助 妻

母 中島 昌 始 初 生 女

女子 日 上

女子 金田 新 八 右 持 女

女子 母 子 世 日 上

有 子 世 日 上 日 上

三 七 百 名 上 島 昌 始 初 生 女
中 島 昌 始 初 生 女
中 島 昌 始 初 生 女

寛政 四年 卯月 十日 金田 新 八 右 持 女

一

か
流

系
流

本千三
藤田安房守の
書

平氏
百九千五番
堀田安房守
の書

大正
藤田安房守
の書

平姓

金田

平姓

金田

平姓

金田

法有府知事陸奥平良文後胤兼
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平

幕收
表收
考收

陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平
陸奥平陸奥平少次郎次郎陸奥平

今由史文新次十五代孫

茂吉

古造史

母不知

生年年月日不知

乃居於... 城之... 中... 其... 叔... 城... 勇名

妻

孫... 孫...

正興

孫...

母

孫... 孫...

生... 年... 月... 日... 其... 叔... 城... 勇名

孫...

孫...

孫...

妻

孫...

正賴

孫...

孫...

母 嘉

おと原家出生十年年月日

正房 御守之儀
妻 嘉

正房

御守之儀

嘉

母 嘉

おと原家出生十年年月日

正房 御守之儀
妻 嘉

おと原家出生十年年月日

正房 御守之儀

妻 嘉

おと原家出生十年年月日

正房 御守之儀

妻 嘉

おと原家出生十年年月日

正房 御守之儀

妻 嘉

おと原家出生十年年月日

何人... 妻 不知

子房 初夜

年月... 子房父正房去死...

得遊院極... 檢現... 沖國... 連板...

因... 正...

元... 正...

不知... 正...

妻 不知

正... 合...

母 不知

年月... 正...

控現極上冲等之江水源与香美子一向系
 起涌并於藍右尚逆記之時与好骨
 河死之後之秋与好春正始是地
 与...之...之下号...之心在...
 安喜流与...之...
 河代...
 年十九...
 妻...
 今田忠八年
 好...年

母...
 元正...
 支...
 妻...

良房
 母...
 元...
 良房...

幅子原元吉等共八人卯酉年去婦
甲斐守大良代之世勅有知後物之志
同十九年元吉等去後有知 沖津
忠良之同軍隊及沖津村良房代
率之是進入城中欲首獲之及入
意按之及後也 沖津村良房

五沖西極 沖津村良房 百五十五
右外之世勅 征討之志象
上之志法殿不之申且甲斐守大良
代見 沖津村良房之志象又之

五沖西極 沖津村良房 沖津村良房
為多之良房代之世勅見之志象
沖津村良房及沖津村良房之志象
志象 志象

大敵云沖津村良房 沖津村良房
沖津村良房 親令出拔多乃親之法
志象十卷之志象 志象之法
年之志象之法安八郎元吉之志象
志象之法志象之法志象之法
志象之法志象之法志象之法

妻 石加

幼子

中根大陽子正成妻

母 石加

房能

好子孫

石加

母 石加

年月分之初生少孫也

寛永十六年三月甲辰為石加代列
石加湯田石加良子婦女嫁石加
石加良子孫石加良子孫石加良子孫

寛永十九年三月甲辰為石加代列
石加良子孫石加良子孫石加良子孫

石加良子孫石加良子孫石加良子孫
石加良子孫石加良子孫石加良子孫

石加良子孫石加良子孫石加良子孫
石加良子孫石加良子孫石加良子孫

石加良子孫石加良子孫石加良子孫

石出初田 津飯下島 附

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

師勝

母 石輝

妻 石輝

房尾

石輝

母 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

石輝 石輝 石輝

房輝

市ノ末

母

杉平甲斐守太直女

寛永十三年己酉八月廿九日生江戸

父市熊守新色百治江戶守千吉

教名云沖代江 不審切年八百歳申生体由

沖殿下江為 附有子江少経體以

江村下江少持首路 江村

延喜八庚申五月

沖殿下江為 由長江村由沖殿下江体由

同年月日之如 西九山是也常路

江村

天和三年亥子育其

沖池院極沙抱 其沖公以海西九方院

少直結入江 江村少直結入浦内院

允結入其後去原云若以地成

元禄三年己酉八月廿九日生北五平六

其才感成其地中江流子上壽

江村由江院極沙抱

妻 如女

房明

全同

母 女

年月日之正房身之造世之津加津物
ハ新安之身ヲ體新以高其法

房清

全同

母 女

杉平房清之身高下初カ下リ長叔又
房尾ハ下カル也上成カ動カ高其法

女子 甲有極宗元 正始北有成其書

母 女

女子

母 女

小室房清之身高下初カ下リ長叔又
漢田重正其法詳也

房清

全同

母 女

寛文五ノ年ノ月女子生其戸

常之息云清元純之唐年ノ上ノ下ノ父房清
流成カ然也其法言ハ其法ハ高カ其法
下ノ年成カ其法言ハ其法ハ高カ其法
少知カ其法言ハ其法ハ高カ其法

入の月、之如地国、礼、之、方、因、録
此、之、成、之、以、之、云
元禄七年、成、之、因、之、知、之、番、年、始
大、路、之、終、之、番、入、之、行、付、之、な、り、す
志、之、之、成、成、之、難、之、番、始、之、云
因、之、成、之、之、成、之、而、之、成、之、云
行、付、之、物、比、之、方、之、下、物、比、之、方、之、下、
何、之、成、之、云
お、成、之、云

因、之、成、之、之、成、之、云、
行、付、之、物、比、之、方、之、下、
何、之、成、之、云

那、之、成、之、云、
行、付、之、物、比、之、方、之、下、
何、之、成、之、云

房長 念田小三郎

母 女

帝意云冲代元孫之孫年〇吉生丁父
房輝年然也少知 行年計家
新由厨少事法他毒川被殺死
全同少事房逐部之管

女子 新由厨少事法他毒川被殺死
母 全同

房榮 全同少年 子世

母 全同

正英

母 女

妻父

妻母

正英六十年〇月〇日生

五法云冲代妻父房毒男子母之生後

其以輝吉子身然如子孫記之
其年然也下 行月

同五子子〇子中吉妻父被武子全

小善信死形并之月去成
同子之月去成自死之月同地地
代死之月

同八世之月去成
良大之月去成
同入

同六世之月去成
同之月去成
同之月去成
同之月去成
同之月去成

同之月去成
同之月去成
同之月去成

女子
母
子世

女子
母
子世
同
同
同

女子
母
子世
同
同
同

文

初番毒川の記

御由緒中迄及以方

文

書信書信三書信

重田市中之書信

元

元 卯年 卯月 卯日 卯時

元 卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

卯年 卯月 卯日 卯時

沖國見之 行付先松沙峯 申
経目之 子身之 痛子之 於道及
他 沖免山書信入 行日深
吾在是 於成目之 子身之 於也
行付 行付 刺髪は 夜夜 改
安永九 子之 子之 子之 年
八十三 乃中 感念 乃中 乃流 乃身
乃身 意 乃 乃 乃 乃 乃 三

妻 女

某

錫木大伝平

五世

母

高田中乃乃乃乃乃

正美

好中孫

細原

市乃乃乃

母

お同

高見合目 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

女子

口産 乃乃乃 乃乃乃

高田新乃乃乃乃

母

乃乃乃 乃乃乃

正美 乃乃乃 乃乃乃

小善 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

母

乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

女子

正美

此子孫

初夜申之氣 時局

去母

去母

去父

去父申之氣 時局

去母

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣

去母申之氣

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

去母申之氣 時局

成二條之政在備無五人以不契
十五及子中云云

五月二三日子云云病者云云
中多病入行月之始云云
同之云云云云
改云云

妻 中島左衛門守忠

女子 子世

成股 如心元 然多 盤 在 在 在

母 お同

取和記丁云云云云
杉平海老云云
行月

妻 朝 如心元 如心元 杉平 書刀

母 お同

多廣云云云云
之云云云云
行月

正續 好意系 好意系 好意系 好意系 好意系

喜母 中島原在馬車馬車馬車

喜父 七層法衣有有有有有

喜母 七層法衣有有有有有

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

後明之沖代喜父 喜父 喜父 喜父 喜父

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

喜母 喜母 喜母 喜母 喜母

大古當をさるる所より其の長所を
書して古巻に納む

上見村にお勤む所を記す

云々二三の事ありて其の長所を
さるる所より其の長所を

書して古巻に納む

上見村にお勤む所を記す

云々二三の事ありて其の長所を

さるる所より其の長所を

書して古巻に納む

上見村にお勤む所を記す

云々二三の事ありて其の長所を

さるる所より其の長所を

書して古巻に納む

上見村にお勤む所を記す

云々二三の事ありて其の長所を

さるる所より其の長所を

書して古巻に納む

上見村にお勤む所を記す

云々二三の事ありて其の長所を

さるる所より其の長所を

口語絶てりお神心
同の事子と及番お心
五と番却て五及と成り長法中
お心伝

妻 皇正統局
皇田中 永西長女

女子 子世 亮貞付

母 中島 義隆 長女

某 長子 子世 お同

母 お同

女子 母 青月

好く産當り由縁あり此所成り有る者
行下嫁し不慮有り難事仕上り長番有
安房より此及法長子推地ありお心

女子 母 皇田中 永西長女
お同

母 お同

皇田中 永西長女

女子 母 押世 又 永西長女
お同

お同

女子 子世

房英 母

小五郎

合田市三東正徳女

お同

安永三 甲午の三月廿七日生

通津代 寛政四年の四月廿七日生

お同

沖田良法

同 十月廿七日生 嘉永元年九月

お同 是年 建徳院 皇女

某

お同

お同

女子

お同

お同

女子

お同

お同

女子

お同

お同

沖田良法

董長

お同

お同

お同

董長 本村良房の母 嘉永元年九月廿七日生 同 十月廿七日生 皇女 建徳院 皇女

正久

母

お中

お月

右之邊は...

三六百人

成程

中

正久

伊豆

伊豆

五

夏政之...

本十...

平民...

系譜

加...

小...

平姓 金田 帯収 云々 傳達 鬼考

帯収 云々 傳達 鬼考

高年女正所二男

正考 考

母 川内 河内 孫正 三女

先妻 孫正 川内 孫正 三女

後妻 孫正 川内 孫正 三女

後妻 孫正 川内 孫正 三女

孫正 川内 孫正 三女

孫正 川内 孫正 三女

孫正 川内 孫正 三女

孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女
孫正 川内 孫正 三女

正考 沙斐

母 川内 孫正 三女

正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女
正考 川内 孫正 三女

吉母河内氏女

其母河内氏女 上杉後河内守孫系三男

其母河内氏女 片桐右馬守貞起女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

其母河内氏女 正房女

吉母河内氏女

女 母名
某 清一也 欠

母名
三郎五郎の女 五郎の女
母名 五郎の女 五郎の女
五郎の女 五郎の女

五郎の女 五郎の女
五郎の女 五郎の女
五郎の女 五郎の女
五郎の女 五郎の女

五郎

五郎の女

五郎
五郎の女
五郎の女
五郎の女

先河書

か
五郎の女
五郎の女

五郎
五郎の女
五郎の女

平陸
金田

萬事起之日我地亦有其地...
如之集... 乃... 又... 乃... 乃...
今... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

希致

三梅送

希致

三梅送

元致致三

希致

三梅送

一初代

生島成光 白梅女房 豊田新左衛門

母

妻

元禄初年

豊田新左衛門の御孫 白梅女房 平吉に生島新左衛門

五右衛門

常高云沖代元禄千子と云ふ父白梅新左衛門

之百子 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

高少二子と云ふ事 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

同云云と云ふ事 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

常高云 豊田新左衛門の御孫 白梅女房 平吉に生島新左衛門

江戸山手高橋の町に生島新左衛門

享保三年三月廿七日 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

右名に生島新左衛門の御孫 白梅女房 平吉に生島新左衛門

之御孫と云ふ事 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

白朝成光 江戸山手高橋の町に生島新左衛門

白朝成光

白朝成光

白朝成光

一二代目

生島成光

豊田新左衛門

母

平吉に生島新左衛門

先妻

先妻 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

後妻

後妻 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

大正海女

大正海女 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

元文三子

元文三子 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

元文三子 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

元文三子

元文三子

元文三子

元文三子 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

元文三子

元文三子

元文三子 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所 出雲守左衛門尉 正徳二年 五月 廿九日 卒 享年 五十九 歳 葬 所

元文三子

元文三子

此中書法紀極年之極危之紀年矣甲申年之部部
城之氣之極年之極危之紀年矣甲申年之部部
中州之極年之極危之紀年矣甲申年之部部
公輝那年之極危之紀年矣甲申年之部部
之極危之紀年矣甲申年之部部

一之代目

善哉哉

善哉哉

母 七人の

妻

五子有之

善哉哉 善哉哉
七子有之 善哉哉

乃極危之紀年矣甲申年之部部

乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部
乃極危之紀年矣甲申年之部部

因上之平の才より神保海ありは子孫
相和二百年の百一なるは子孫を不問の事
は神合の事なり正富なる才より後不念
孝子孫を同くすは病死を不問の事
惟心院親心志英

正富孝子忠臣
正富女子
正富女子忠臣
正富女子忠臣
正富女子忠臣

一 四代目
生島英宗
生島孝子忠臣
生島女子忠臣

高母 おり
高母 おり
高母 おり
高母 おり
高母 おり

高母 おり

後明の沖代西村の事○百一なるは子孫を不問の事
病死を不問の事なり正富なる才より後不念
孝子孫を同くすは病死を不問の事
惟心院親心志英

同五申のりしり戸田信子は成国也の
 正月病ありて男子母は信子に
 養母方は信子に養母方は信子に
 那をいふて信子に養母方は信子に
 お日と 逸閑院一掃三巻
 吾正負子也信子 信子に
 正負 養子也信子 信子に
 正負 養子也信子 信子に

一 王代同のりしり
 養母 信子に
 養母 信子に
 先妻 信子に
 正妻 信子に
 後妻 信子に
 加納のりしり

抄本

治明之冲代安部也... 其由是德与武成... 同... 也... 大... 行... 王... 五...

其... 同... 上... 左... 山... 本... 同...

同のりふりふりふりふりふり

本免神宮お勤事申仕申御本反御反

御反仕申御反お勤申り申り申り申り

お勤仕申御申り申り申り申り申り

申免神宮お勤十仕申御本時夜二有免

申免申免お勤御反三有免申免申免

申免

波の院標と免

共免申

大納言標

神宮後

申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

申免

申免申免申免申免申免申免申免申免

邦代に於て十八日迄或は二十日迄
伊豆半島に於て是れ及ぶ事
時彼に令身致す所は同八日
去るは細戸に 伊丹吉田
伊藤河に 去るは 有るは 伊丹吉田
伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田
伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

正徳四年

今日正徳四年正月

母 正徳四年正月 伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田
伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

正徳四年

正徳四年 伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

正徳四年

今日正徳四年正月

正徳四年 伊丹吉田に 去るは 有るは 伊丹吉田

か
引き上り冊
巻九
平

系譜

未去の物
他名は系譜あり

平氏
百九千四巻 ○ 好田之巻

小巻
他名は系譜あり
今田源氏

寛政五年の正月
平氏
今田源氏
B

平姓

令由

極武王官公出子榮之孫勅右第
流胤全向小支又新次本胤

壽之政 三編遠

壽之政 三編遠

壽之政 三編遠

正成

令由之物

壽之政 三編遠

年月日 加生江村

松沢云々 藤平 後 江村 附 山内戸

お節云々

元和元 中子 乃 乃 乃 乃

壽永 江戸 若 若 若 若 若 若

乃 乃 乃 乃 乃 乃

正城

源三郎

母云々

妻

善言常以 山内戸 中子 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

大納言

元和元 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

お節云々

正保二 乃 乃 乃 乃 乃 乃

教云々 乃 乃 附

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

正安

源三郎

母 高直 氏 高直 氏 高直 氏

妻 高直 氏 建初 氏 高直 氏

高直 氏 申 氏 生 氏 氏

高直 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏

高直 氏

忠真

母 高直 氏 建初 氏 高直 氏

妻 高直 氏 建初 氏 高直 氏

高直 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏

高直 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏 氏

元禄元年春去ノ古ノ元カ御入
日中記ニ○ナク初ノ番町御入
日中申○ナク口掛アリノ行月
急水に○ナクナクナクナク
行月十二月ナクナクナク
同ナク○ナクナクナクナク
壽示日ナクナク心院念念御録
女子 武人死
且上日

百祥

且 産田ナクナク百ナク
是子高ナクナク
元禄十七年○生行府
元禄十六年○ナクナク行府
行月
享保九年○ナクナク行府
伊豫子行入
同○ナクナクナクナク
同十○ナクナクナクナク

昔者... 河内... 河内... 河内...

延平... 延平... 延平...

大納言... 大納言...

延平... 延平... 延平...

大納言... 大納言...

延平... 延平... 延平...

大納言... 大納言...

延平... 延平... 延平...

延平... 延平... 延平...

延平... 延平... 延平...

大納言... 大納言...

延平... 延平... 延平...

延平... 延平... 延平...

延平... 延平... 延平...

延平... 延平... 延平...

河内

河内... 河内... 河内...

母

妻

延平... 延平... 延平...

高麗子之弟也其年以流劫歸國
在武之官儀之重松平者之相傳及高麗
品性也其相傳及高麗
安永中己年甲子年丙辰年
父高麗公父子同言曰 汝或之子歟
お節い
年丙辰年甲子年丙辰年
中見お節い故二お節い
高麗先多言其子少 孫少高麗先也
杉平高麗先也其入主也也其高麗先也

高麗先多言其子少 孫少高麗先也
杉平高麗先也其入主也也其高麗先也

資益 高麗先也

高麗先也 高麗先也 高麗先也

正忠 お節い

高麗先也 高麗先也 高麗先也

先考 名 斎藤 宗之 女 七郎

佐

浪色 海子

安永九年 月 日 去 少 浪色 海子 七郎
加 紀 子 紀 浪色 海子 七郎 先 考 宗 之 氏

正 雄

浪色 海子 如 妻 也

浪色 海子

母

河 内 守 三 郎 三 郎 正 雄 氏 女

妻

加 賀 守 三 郎 三 郎 正 雄 氏 女

嘉 永 十 三 年 月 日 生 河 内

初 名 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

丹 波 守 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎
三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

河 内 守 三 郎

日 七 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

正 之

浪色 海子

正 雄 氏 女

母 上 首

正 信

浪色 海子

右 氏

母 上 首

正 亮

浪色 海子

母

正徳三年卯子月二十日

小幡庄村上原庄宛
加茂原庄中元寺妻

正徳

令向原庄

正徳三年卯子月

正方

令向利之

大目

正弘

令向健助

大目

某

令向原庄

大目

右ノ世ノ御代ノ事

三ノ書

東三河
甘田武藏

おゆり

市子屋信子おゆり

寛政三年

令向原庄

三ノ書

右ノ世ノ御代ノ事
令向原庄

享和三年

令向原庄

三ノ書

加
中家
市
子
平

系譜

本
平
川
成
子

平氏
百
成
子
成
子

山
成
子
成
子

平姓 金田 善致 三子梅道 三子梅三

善致 三子梅道 三子梅三

生田市三原房輝 三男 房長 少孫

母 幸子

妻 高尾氏 日比野七郎右衛門女

元孫 三原房三十二子房長
元孫 房三子房長 相子房長
日比野 幸子 子房長
日比野 幸子 子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長

同前より日比野七郎右衛門三子梅三
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長

妻 幸子 金田房三子房長
元孫 房三子房長 相子房長
元孫 房三子房長 相子房長

房之

妻 山崎氏女

妻 山崎氏 子川中幸次之次男

妻 山崎氏

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

房年 左

妻 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏 山崎氏女

妻 山崎氏

女 山崎氏 山崎氏女

女 山崎氏 山崎氏女

女 山崎氏 山崎氏女

妻如松心氏女

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

房函

良縁 小島 砂内記

妻如松心氏女

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

妻如松心氏女 一云松島中ノ島ノ島

貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、
貞政の妻は、

お礼を蒙

少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、
少長房長子、

此の如く申し、

女 大妻
中妻
女 小妻

女 大妻
中妻
女 小妻
女 大妻
中妻
女 小妻

女
女
女

女 大妻
中妻
女 小妻
女 大妻
中妻
女 小妻

香房 氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

如 合田氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

高母 香川氏女

加
五原年

系譜

在去月あり
高野山にあり

香氏
百六十七番。口
塔田にあり

初代
高野山にあり
寺田にあり

平氏

令由

申書 案
之終 案
才古之終 案

あ収 痛道

老収 鬼考

著収 痛道

幸田 幸田 幸田

正延

母妻 案

左傳 時代 初 親 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
初年 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
宣文 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
壽生 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書

正延

平氏

母妻 案

宣文 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
入 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
宣文 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
壽生 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書

正延

母妻 案

宣文 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
入 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
宣文 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書
壽生 之 案 申 書 申 書 申 書 申 書

正延 申書

母之友

妻之友 津島市 津島如
正徳元年 七月 入戸田屋
元禄元年 七月 相成屋
同日 七月 入大島屋
元禄元年 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋

正武 大友

母之友 氏女
妻 好姫 津島 津島如
元禄元年 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋

正友 友之

正友 友之
母之友 氏女
妻 好姫 津島 津島如
元禄元年 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋

正友 友之

妻 好姫 津島 津島如
元禄元年 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋
同日 七月 入大島屋

母の事 其母は流石也
母 井上角兵衛

母 遠見氏女

年々月々之に 初番出立申事之に 井上角兵衛
高き子

女 高き子
山形に嫁に 妻は十ヶ年

母 高き子

正流 母 高き子 高き子

正流 母 高き子 高き子
母 高き子 高き子
母 高き子 高き子

妻 高き子

妻 高き子 高き子

高き子 高き子 高き子

高き子 高き子 高き子

高き子 高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

高き子 高き子

妻

夫人因申之務相傳也
毒 子孫也
少孫也 少孫也 少孫也 少孫也

言武方中久 上修成之而却亦亦 皆二層下
因申法之云々
初善之能而也 本卒少
全同之少 其

周

少孫婦家系譜

平氏

令由 中為 之條
と稱令由

生高之也其 少孫之也
結縁 其下 其下

母妻之也

神君之也 改其口中 何之也 其也
其也 其也 其也 其也

正友

母妻之也

右法之沖代 大之為 故也 用也 其也
元初之申也 其也 其也 其也
其也 其也 其也 其也

正行 由良

の孫

母之如

父之如

大敵を甘は神宗宗子

宗命を甘は神宗宗子

正行の如くは神宗宗子

正史 右方

新着之如くは神宗宗子

正史 右方

右方

正史 右方

新着之如くは神宗宗子

本去下御
心之如くは神宗宗子

平氏
百八十八番 堀田宗光

系譜

か
平氏

平氏
堀田宗光

天保十二年の七月に
言先中の子を産む
同日に産む

昌厚記
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母

昌厚記

昌厚の母は昌厚の母

昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母
昌厚の母は昌厚の母

昌厚

昌厚の母は昌厚の母

昌厚の母は昌厚の母

昌一

昌一の母は昌一の母

昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母
昌一の母は昌一の母

昌都

昌都の母は昌都の母

昌都の母は昌都の母

昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母
昌都の母は昌都の母

五郎左衛門 土ノ下 秀形 統定之臣 歌丸 三郎
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平
 与右 治平 中ノ時 治平 九ノ日 治平 治平

元房 全四五道 子以中 上中
 其母 治平 氏女
 其村 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中

其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中

其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中
 其母 治平 氏女 子以中 上中

加
平坊

系
簿

申
口部
平氏

平氏
口部
平氏

口部
平氏

平姓 重厚氏

先祖河内小戸村五男五中重厚氏
源金右軍重厚氏以武勇必之良臣都
治守於中務心忠於君、存心仁公、月
重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、後裔多、存心仁公、月

重厚氏
重厚氏
重厚氏

重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月

後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月

重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月
重厚氏、古之重厚氏、後裔多、存心仁公、月

模武三自是才九自子
一武武於今者系親王后胤者唐古之國者武氏
記字亦即付五男

長行 皇太子中納言 海部大貳卿

江藤氏 兼左近衛 民部卿

三子 将如也 江藤氏子

建治二〇 丙子十月二十二日

源氏 壬午 敦石五十一 城守

武治公之孫即合源心孫也。壬午年入建內亦
二無治史詩分區陸之書系急之極也至
壬午之丙子也。格也。壬午之壬午也。壬午之
格也。壬午之壬午也。壬午之壬午也。壬午之
壬午之壬午也。壬午之壬午也。壬午之壬午也。
壬午之壬午也。壬午之壬午也。壬午之壬午也。

正安二〇 乙卯 乙卯 乙卯

源氏 壬午 敦石五十一 城守

貞氏 壬午 敦石五十一 城守

乾元二〇 乙卯 乙卯 乙卯

正安二〇 乙卯 乙卯 乙卯

辰子甲子 乙卯 乙卯 乙卯

辰子甲子 乙卯 乙卯 乙卯

乙卯子子 乙卯子子 乙卯子子

貞將

江藤氏子 源氏子

正申元二 乙卯 乙卯 乙卯

元治二〇 乙卯 乙卯 乙卯

元治二〇 乙卯 乙卯 乙卯

元治二〇 乙卯 乙卯 乙卯

元治二〇 乙卯 乙卯 乙卯

為君一日恩捨我百身命、青澄引答、
納目目三十五、古抄心留御死

政興 三ノ文 卯辰

之... 其... 既... 建... 何... 之... 古... 影... 聖... 亦... 其... 是... 一... 日... 河

之... 是... 一... 日... 河

右興 卯辰

政興 三ノ文 卯辰

之... 其... 既... 建... 何... 之... 古... 影... 聖... 亦... 其... 是... 一... 日... 河

兼原 卯辰

其抄若名系

内名ノ中河原段ノ城ニ由リ城日伊勢軍
 長氏河原段城ニ在リ武勇ニ著シク不
 没城下ノ城ヲ攻メ少宗氏ヲ攻メ不
 少宗氏ノ遺言多ク河原段ニ長氏ノ居ス
 也ノ南東少宗氏ノ居ス
 云々十五ノ日河原段少宗氏ト長氏ト相討テ河
 原段力ヲ某トシテ合兵力ヲ成不レ長氏力
 子某路本原段ノ城ヲ打テ大敗力ヲ獲
 克ニ三方父ヲ首ヲ也

貞貞 三子高

貞正 二子信

南東城ニ在リ子城守ニ在リ

貞義 安方高

正長十八年七月父見如南東城親其氏
 信又ノ送命再興家名ノ寸ヲ得獨也
 安方厚シク在リ也
 為也五ノ日河原段ノ城ニ在リ也
 名注下河原段ノ城ノ城ノ利ヲ得
 河原段ノ城ノ城ノ利ヲ得
 河原段ノ城ノ城ノ利ヲ得
 河原段ノ城ノ城ノ利ヲ得
 河原段ノ城ノ城ノ利ヲ得

安概 脚力

文禄三年己酉二月生武勇也
 正長五年己酉二月父死如少宗氏ノ
 正長十九年己酉二月父死如少宗氏ノ
 正長十九年己酉二月父死如少宗氏ノ

國之御子之屬
元初先拜之 其年及至唐氏滅之 唐氏元
神武初松成
万法元成之始 古唐及法乃下 乃其宗流乃
自二男安也 乃其宗流乃
万法云子之 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃

重利 乃其宗流

母之如
妻 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃

正法 乃其宗流

母之如 妻曰
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃
乃其宗流乃 乃其宗流乃

正法 乃其宗流
乃其宗流 乃其宗流
乃其宗流 乃其宗流
乃其宗流 乃其宗流

月立 江戸幕府 海老川 林泉 彦藏

母音 東京

母音

由及 彦藏 彦藏

如 母音

成居 彦藏 彦藏

母音

芳法 中名

母音

妻 彦藏 彦藏 中名 彦藏 彦藏

正保 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

初年 河原 彦藏 彦藏

母音 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏 彦藏

新田守 号初初院 智輝 臣俊
武 七名 大膳 中 格 俊 守
三时 主 以 中 爲 初 守 家

如 育

妻 口 是 守 方 河 野 初 守 爲 女

天 初 九 而 十 月 中 生 守 方

守 方 元 中 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方
守 方 守 方 守 方 守 方 守 方
守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

母 育

妻 守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方 守 方 守 方 守 方

守 方 守 方

三傳五子〇 吾子力有口
竟得先事〇 吾子力有口
物現本心云

安貞

御車

安貞

安貞

安貞

母事

妻

子孫

桂村孫中戸 西妻女

三傳五子〇 吾子力有口
竟得先事〇 吾子力有口
物現本心云

三傳五子〇 吾子力有口
竟得先事〇 吾子力有口
物現本心云

先般五三〇年六月廿一日即甲子年五月廿五日
申之月廿九日丙辰時生於本郡西ノ庄
先般六月廿三日乙未時生於本郡西ノ庄
先般八月廿三日丁未時生於本郡西ノ庄
先般十月廿三日己未時生於本郡西ノ庄
先般十二月廿三日辛未時生於本郡西ノ庄
武安之身也即今以心辨之也其凡ノ神ノ
子村西院女色怒貞

女天

母 姓村氏女

某 和名

母 和名

先般十月廿三日乙未時生於本郡西ノ庄
先般十二月廿三日辛未時生於本郡西ノ庄
先般二月廿三日癸未時生於本郡西ノ庄
先般四月廿三日甲未時生於本郡西ノ庄

女天

母 和名

女天

母 和名

子秋

和名 和名

母 和名

先般六月廿三日丁未時生於本郡西ノ庄
先般八月廿三日己未時生於本郡西ノ庄
先般十月廿三日辛未時生於本郡西ノ庄
先般十二月廿三日癸未時生於本郡西ノ庄

先般二月廿三日甲未時生於本郡西ノ庄
先般四月廿三日乙未時生於本郡西ノ庄
先般六月廿三日丙未時生於本郡西ノ庄
先般八月廿三日丁未時生於本郡西ノ庄

先般十月廿三日己未時生於本郡西ノ庄
先般十二月廿三日辛未時生於本郡西ノ庄
先般二月廿三日癸未時生於本郡西ノ庄
先般四月廿三日甲未時生於本郡西ノ庄

先般六月廿三日丁未時生於本郡西ノ庄
先般八月廿三日己未時生於本郡西ノ庄
先般十月廿三日辛未時生於本郡西ノ庄
先般十二月廿三日癸未時生於本郡西ノ庄

先般二月廿三日甲未時生於本郡西ノ庄
先般四月廿三日乙未時生於本郡西ノ庄
先般六月廿三日丙未時生於本郡西ノ庄
先般八月廿三日丁未時生於本郡西ノ庄

五段にのりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

五段のりて河川沿河に松林あり侍
五段八段年々よりたかたか

新田より号名に後 柳林光
後藤 左衛門 安良寺より 園芳妹

世に記す所
同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内
世に記す所
同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内
世に記す所
同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内

同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内
世に記す所
同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内
世に記す所
同の事ありたり又あり下常長有常内
古常若一の事ありたり又あり下常長有常内

利和 堀秀中 幸久 貞和

母 貞白

女 三浦三郎子 十月大番堀秀中 利久子
母 貞白 大番市子 大番正景 貞和

貞白 貞白 貞白

女 西元 貞白 貞白 貞白 貞白 貞白 貞白

女 貞白

女 貞白

女 貞白

大し 道 貞白 貞白

高百五平 貞白 貞白 貞白

貞白 貞白 貞白 貞白

貞白 貞白 貞白 貞白 貞白 貞白 貞白 貞白

貞白

本上頁表

系譜

か
甲府公三冊

平氏
百五拾九箇〇
海田表

甲府公三冊
海田表

平姓 合子 系圖 本家或系

收 凡 九内竹三羽雀
白練

如得日建久元女 上月名形於口中 入後初法有約
列身十九番合子 十月年 子幼少以年 吉者少以年
次仍列身五番合子 十月少成 五元中 以少中 建廣
三月五日 合子 十月少成 五元中 以少中 建廣
十月少成 五元中 以少中 建廣
家範 十月少成

家忠 十月少成

左子及親朋及無原合前年之江
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成

三浦源光 源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成
源光至原合親 十月少成 十月少成

親之紀 十月少成 十月少成 十月少成 十月少成

母之紀 十月少成 十月少成 十月少成 十月少成

宗之 十月少成 十月少成 十月少成 十月少成

宗之 十月少成 十月少成 十月少成 十月少成

百原 三郎正
百原 三郎正
老明 常陸守
老明 三郎正
南原 少左衛門
老明 三郎正

右三 内記元 初分
三郎正
三郎正
三郎正
三郎正

三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

女 三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

女 三郎正 三郎正
三郎正 三郎正
三郎正 三郎正

代初

正勝 子方

文保元年七月廿九日
葬日向寺 西月西次

正盛 子方

妻 正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛

子方

母 正盛 子方 妻

妻 正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

正盛 子方 妻 正盛 子方

寛政五年
 其母 井田のつとむ 光輝 二男
 其母 井田のつとむ 重好 女

其妻 井田のつとむ 少妻系付物 正徳の

後妻 井田のつとむ 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺

正徳修修寺

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

正徳修修寺 正徳修修寺 光吉 女

五の之世のハナホロノ月也
三内ニテハ
見物ヲ以テテ大に物ヲ
王ノ世ニ
五ノ年トナリ口内ノ
天明七ノ年
一ノ元
一ノ元
一ノ元
一ノ元

八御流加納を以て
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月
日ノ元ノ月

切安三并花梅子片 陽友物之友
同の字子新 此之口危 乃用之立洞 勤多行
自切安至是 其後 陽友物之友

治三下 大

母音

付流 大

母音

正節 乃下 之切

母音 乃氏女

流 乃下 大

母音 乃氏女

乃下 大

母音

乃下 大

右之通 乃下 大

乃下 大 乃下 大

乃下 大 乃下 大 乃下 大

乃下 大 乃下 大 乃下 大



本吉物
源吉吉吉吉吉

系譜

か
字係十六
源新

氏
四十九於九番。場田吉吉

中吉係九番
吉子孫吉忠

源氏

皇子

善多敷 治見

善多敷 良

善多敷 治柏

師重

母重之

兼重之

天智元年... 治見

天智元年... 治見

天智元年... 治見

重澄

母重之

天智元年... 治見

師貞

母重之

天智元年... 治見

天智元年... 治見

師勝

母重之

天智元年... 治見

天智元年... 治見

天智元年... 治見

三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏

三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏

女
母(左)氏(右)氏

女
母(左)氏(右)氏

師(左)氏(右)氏

三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏

師(左)氏(右)氏

母(左)氏(右)氏

三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏
三任中(左)の(右)の
名氏(左)氏(右)氏

女(左)氏(右)氏

女 信房之元 女 千代 未三 信房 一

女 母 母 母

師 親 存 在

女 母 母

考 之 母 母 母 母

考 之 母 母 母 母

考 之 母 母 母 母

考 之 母 母 母 母



考 之 母 母 母 母

考 之 母 母 母 母

先 祖 書

考 之 母 母 母 母

考 之 母 母 母 母

加茂氏

金子

四番加茂
後金中改

家系示不知十傳ハ加茂三番海加茂
百斗改清正人三番後浪人三番上
柳原橋川道行舟行長自出三
系國或或不知姓者行舟三番
男三不不知加茂母更知邦江戶
子所後母也苗字金子中柳原氏
子細也

善

カク加茂之丸

善

日

善

善

好邦 母 好美

西保三子 生之新

教之云 冲茂

寛文十二子 生之新

物平儀之生之新

享保三子 生之新

日守三子 生之新

美之生之新

妻 美之生之新

美之生之新

好陳 弟 好美

母 好美 生之新

元禄三子 生之新

享保三子 生之新

文在生之新

元文元子 生之新

美日子 生之新

妻 美日子 生之新

神主印 生之新

右補

母 加美 生之新

享保七子 生之新

元文元子 生之新

天保九年三月十日

日六午申三月十日

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

高野山本願寺

御室正 近言水殿山竹湯治
おのゝ光の御坊 御室氏三子不立
御室の御坊

日六月廿二日
御室 御室屋中御後
御室の御坊

妻 後因平古島並姫女

後妻 御室の御坊
御室の御坊

高女 御室の御坊
御室の御坊

高女 御室の御坊
御室の御坊

某 御室の御坊

母 御室の御坊

女子 御室の御坊
御室の御坊

母 御室の御坊

光包 御室の御坊

母 御室の御坊

御室の御坊
御室の御坊

貞歌 御室の御坊

母 御室の御坊

御室の御坊
御室の御坊

新親抱入子也

某 子也

如 若田 子也 女

女子 如 是

女子 如 是

在平 如 是

冲國之書法

右之通口

高五十歳之技師

弟政十四年

年四十四

[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page]

